

No.53 と き め き

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分で発行しています

地域の除雪活動

＝ 高野地区の取り組み ＝



自宅前の通路除雪



除雪車が通った後の雪を除去

体調どうですか？

移動時には地域の方と
挨拶を交わします

1月からまとまった降雪が多く、上山市内では、各地域で除雪活動が行われました。今回は、ボランティアによる除雪を実施している高野地区の活動を紹介します。

高野地区では、3年前から回覧板で除雪ボランティアを募り、高齢者世帯の除雪活動を行っています。登録している除雪ボランティアは30代～70代の12名です。1世帯に対し2～3人のボランティアが担当し、時間帯を決めずに実施しているため、ボランティア自身の都合に合わせて無理なく活動ができています。



高野地区の皆様にお話を伺いました！

除雪ボランティアの方へのメッセージがあれば、教えてください。

自分1人では除雪ができないため、不安で眠れない時もあり、雪が多く降ると家の窓から、外の様子をハラハラしながらみえています。
除雪は重労働のため、地区の方が来てくださると安心します。ありがとうございます。



対象者
A様

除雪活動を行っていて、感じていることを教えてください。

地区の方から、「ご苦労様！」とねぎらいの声をかけてもらえると、活動をやっていて良かったなと思い、やりがいにもつながります。
時間を決めずに活動をしているので、気軽に活動を続けることができます。



除雪ボランティア
渋谷正秋様

除雪ボランティア活動の今後の展望について教えてください。

ボランティア同士の反省会等の機会を作り、つながりや面白さを感じられるようにしていきたいと考えています。新型コロナウイルス感染症の影響で出来ませんが、その中で活動の反省点があれば、改善していけるようにしていければと思います。



除雪ボランティア
今野昇様

みんなで力を合わせて、地域を支える



除雪ボランティア

上山市社協では、平成30年度より地域や隣近所等で除雪に対応できない高齢者等の世帯に対し、地区と調整を図りながら、ボランティアによる除雪活動を実施しています。

今年度の活動報告

令和3年度は、令和4年1月9日(日)～2月13日(日)までの毎週日曜日(計6回)の活動を計画しました。しかし、新型コロナウイルス感染症のまん延状況を考慮し、1月23日(日)、1月30日(日)、2月6日(日)、2月13日(日)の活動は中止となり、2回のみの実施となりました。除雪ボランティアの参加者は、地区の方々や社協の登録除雪ボランティア、市内中高生、上山青年会議所、市内福祉施設の職員、やまがた除雪志隊等の皆様でした。

今回は、高齢者等の66世帯へ活動を実施し、除雪ボランティアの総数は212人(2日間合計)にご協力いただきました。感染症の予防に十分配慮しながら活動を行いました。


ボランティア先の住民からのメッセージ

- 今年雪が多く、自宅から出ることも大変だったので、除雪をしていただいたおかげで、病院等へ行くことができました。ありがとうございました。
- 若い世代の人たちが自分の家の前を除雪してくれて、挨拶や活動してくれる姿に元気をもらいました。

活動の写真



除雪ボランティアの感想



私は、2年ほど前からゴミ拾いや公民館の掃除など数々のボランティアをしてきました。今まで、ボランティアは個人的にやってきたことも含めて、宮川地区に貢献してきたと思います。その中で除雪ボランティアは、ほかのボランティアと違い、人の家に行って活動し、地区の人に直接お礼を言われるのでとてもやりがいのあるボランティアだと私は思いました。これからも、ボランティア活動を積極的にしていこうと思います。

上山市立宮川中学校 2年 中川 怜 様

学校の授業以外ではじめて自分からボランティア活動に希望して参加しました。活動を通して地区の人との交流をすることができ、いい経験になりました。

今年から大学生になりますが、大型休暇等の時間が空いた時にボランティア活動をしたいと思います。

小関晃平 様(軽井沢在住)

雪が降ると生活が大変になってしまいます。お互い様の気持ちで、自分の身体が動けるうちは、ボランティアとして活動していきたいと思っています。

佐藤作太郎 様(沢丁在住)



ご協力いただきました皆様、ありがとうございました

ボランティアに関する保険に加入ください

ボランティアの活動を支えます

上山市内でも地区の除雪活動をはじめ、ゴミ拾い等の環境整備や福祉施設等でのボランティア活動など、多くの皆さまがボランティア活動に取り組んでいます。活動の際に気をつけていても事故やケガの可能性があります。万が一の備えとして、ボランティア保険への加入をお勧めしています。

ボランティア保険とは、ボランティア自身がケガをした場合の「傷害保険」と、他人の体や物等へ損害を与え、賠償責任を負った場合の「賠償責任保険」の2つをセットした保険です。

< ボランティア活動保険 >

無償で活動するボランティアに対して、ケガだけでなく、食中毒や熱中症、特定感染症(新型コロナウイルス感染症を含む)、自宅から活動場所までの往復途上の事故等が補償されます。

保険料：年額 350 円~/人

補償期間：令和4年4月1日~令和5年3月31日まで

※中途加入の場合は、加入申込手続き完了日の翌日から令和5年3月31日まで

< ボランティア行事用保険 >

ボランティア行事の参加者のケガや主催者の損害賠償責任を補償します。

保険料：Aプラン(宿泊を伴わない行事)28円~/人 ※最低保険料560円

補償期間：行事開催期間 ※加入手続き完了日の翌日午前0時以降の行事開催日から補償



※各保険へ加入する際に、保険料の他、申請1回にあたり振込手数料110円が別途必要となります。

★ 物品の貸出について

社協では、地区会や、ふれあい・いきいきサロン活動等で、活用できる物品を貸出しています。

ターゲットゲーム

今回新しく追加された
物品を紹介します！

【遊び方】

手のひらサイズのボールを投げ、数字が書かれている9分割のボードに当たったマスの点数を競う、ボール的当てゲームです。マジックテープ式で、そっと投げただけでもくっつくので、世代を問わずにどなたでもお楽しみいただけます。

ボールを投げて当たったマスの数字の合計点数を競う得点ゲームや、たて・よこ・ななめのいずれかを揃え、揃った列を競うビンゴゲームなど、様々な遊び方ができます。

※この物品の貸出は、令和4年4月1日からとなります。



※イメージ図

- ・幅 104×奥行 100×高さ 131cm(本体)
- ・専用ボール 9 個
- ・折りたたみ式、屋内外兼用

<その他の貸出物品> ※貸出は無料です。ご利用の際は1週間前までにご連絡ください。

遊びながら地域を学べる



上山ふるさとカルタ



方言カルタ



ヤクルトシェイカー

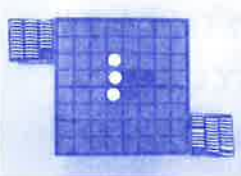


ポッチャ



ふぁーすと・すてっぴ様でのポッチャの体験の様子

遊びながらユニバーサルデザインを学べる



オセロ



トランプ



アイマスク、白杖

外出等に使える



車いす

※一時的に使用する場合に限る

上山市社会福祉協議会 職員募集

職種及び求人数 訪問介護員（臨時・登録職員）若干名
必要資格

- ・介護福祉士、介護職員実務者研修、介護職員初任者研修、ホームヘルパー（1級・2級）のうちいずれか
- ・普通自動車運転免許

募集期間 随時募集

応募方法 電話連絡のうえ、履歴書と資格証明書の写しを持参してください。

申込み先 上山市社会福祉協議会 ☎ 695-5095

一緒に働いてくれる方を募集します

